



# 西おきたま 雪若丸だより

雪若丸

山形おいしさ極める！米づくりプロジェクト置賜地域本部 西置賜農業技術普及課

## 「雪若丸」の安定生産に向けて 生育診断により適正な生育量を確保しましょう。

### 1 生育状況（6月18日現在）

雪若丸実証圃の生育は、指標値に比べ「草丈はやや長く」、「茎数は多く」、「葉数はやや多く」、「葉色はやや濃い」状況です。

管内全体では、土壌還元（ワキ）の影響等により、生育のバラつきが例年になく大きくなっており、圃場ごとの対応が重要です。

西置賜農業技術普及課「雪若丸」生育診断ほ場の状況（飯豊町）

	草丈 (cm)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	葉数 (枚)	葉色 (SPAD)
本年	39.5	642	9.5	47.3
指標	32.0	460	8.1	43.0
指標比・差	123	140	+1.4	+4.3

「雪若丸」栽培の時期別指標（内陸）

	6月10日	6月20日	6月30日	7月10日	7月20日	出穂期	成熟期
草丈(cm)	25	<b>32</b>	41	52	64	8月2日	稈長 70
茎数(本/m <sup>2</sup> )	240	<b>460</b>	590	620	600		穂数 <b>560</b>
葉色 (SPAD)	37	<b>43</b>	43	41	41		
葉数(枚)	6.4	<b>8.1</b>	9.3	10.4	11.6	13	(止葉 葉数)

### 2 生育が不足した場合の対応技術

- 移植後、土壌の異常還元（ワキ）が見られた場合は、速やかに田干しや夜間落水を行い、根圏環境の改善を図ります。
- 根圏の改善を図った後は、水深2～3cmの浅水管理で分けつを促進します。
- 上記の対策を行ってもなお、6月20日頃の生育が下表より不足している場合は、収量低下の可能性が高くなるため、**窒素成分量1kg/10a程度を補完施用**し生育量を確保します。

茎数		葉色
m <sup>2</sup> 当たり	300本以下	40以下 (SPAD)
株当たり	17本以下 (坪60株植)	
	14本以下 (坪70株植)	

### 3 目標茎数を確保した後は、直ちに中干し・作溝を行いましょう。

- 中干しは田面に小ヒビが入る程度を基本とします。
- 生育量が大きい場合や、葉色が濃い場合は →やや強め
- 生育量が小さい場合や、葉色がさめかかっている場合は →弱め

### 4 穂肥に向けた「雪若丸」の生育診断について（6月30日頃）

#### 【前提条件】

- 中干しを行い、土壤環境を整え、上根を張らせ、穂肥のできる状態までイネを仕上げましょう。
- 幼穂形成期まで葉色（SPAD値）を40未満に低下させない。  
「はえぬき」より、生育量が多くても、中干しの強度を上げすぎない。  
※「雪若丸」の葉色は「はえぬき」より、全般に濃く推移する。  
偏穂数型で㎡茎数は「はえぬき」より、多くなる。

#### 【生育診断のポイント】

- 穂肥は出穂25日前、窒素成分で1.5kg/10aを基本としましょう。  
生育診断結果により、次のように対応しましょう。

生育量	茎数	葉色 (SPAD)	追肥対応 (8月4日出穂想定の場合)
適正	560~750本/㎡	40~44	出穂25日前 (7月10日頃) N成分1.5kg/10a
生育不足	560本/㎡未満	40未満	早めの穂肥 出穂30日~26日前 (7月5日~7月9日頃) N成分1.5kg/10a
生育過剰	750本/㎡以上	44以上	出穂25日前 (7月10日頃) 葉色の低下を確認し、減肥対応 N成分1.0~1.2kg/10a

### いもち病・斑点米カメムシ類に注意！

例年よりも早く葉いもちが本田で確認されています。ほ場の観察を行い、早期発見に努め、発生初期に防除しましょう！

斑点米カメムシ類も現状やや多い傾向です。畦畔の草刈りを徹底しましょう！

山形県農薬危害防止運動実施中！～農薬を使用する際は使用基準を再確認！その都度記帳！～